



信太の森NEWS

NO 2
2009
7/06

関西自然保護機構

「信太山」現地見学会を行う

7月5日(日) 関西自然保護機構(略称KONC)が「北部公共施設整備事業」で自然



環境の破壊が心配される計画予定地や大阪みどりのトラスト協会が管理する「惣ヶ池湿地」を見学、調査を行った。KONCは「自然保護と自然環境保全について共に考える学際的な団体」で学者・研究者たちで構成、30年に及び自然保護の諸問題に対し助言や勧告を行っています。

今回は、会長の石井 実(府立大教授)を先頭に山西良平(大阪市立自然史博物館館長)平井規央(府立大助教)、藤井伸二(人間環境大学 准教授)佐久間大輔(自然史博物館学芸員)など植物や昆虫などの専門家16名が参加した。

限られた時間の中で、希少種などの育つ涵養湿地やワレモコウが優占する惣ヶ池湿地などポイント的な観察になったが、花が咲き終わったトキソウ、カキラン、イシモチソウをはじめ、サギソウ、コモウセン、モウセンゴ

ケやワレモコウの群落を確認できた。

道路計画でつぶれるかも知れない小さな湿地ではカスミサンショウオの幼生を発見、大野池では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ウキゴリ」という小さな淡水魚も発見された。これは、信太山での初見ではなかろうか。

観察後のまとめの中で、

*こんなところがあったのに感激した。*箱庭のように残っている。*どう保全しどう利用するか微妙な問題もある。*都市近郊での価値は高い *全体の信太山の広さが湿地を残している。*小さなものでも全部の湿地を残したい。など大阪での価値を認めながらどう保全・保護していくかのさまざまな課題があることが話された。

シンポジウム

仮題「信太山の保全と活用」

と き 09年10月18日(日)

と ころ 和泉市立鶴山台南小学校
体育館

7月5日のKONCの見学のあとシンポジウムの開催が決まりました。主催は関西自然保護機構、大阪自然環境保全協会、大阪みどりのトラスト協会、信太の森FANクラブなど(調整中)

詳細は後日発表

要望署名ありがとうございました

個人署名 4, 059名分

団体署名 59団体

(7/5㍻切)

7月14日、辻和泉市長に提出します
ご協力ありがとうございました